

令和2年度長野支部  
保険者機能強化予算について

# (1) 支部予算の考え方

平成30年度	基礎的業務関係予算	①支部事務室賃料、謝金等基本的な業務に必要な予算
	地域の実情等を踏まえた取組	②広報や意見発信及び保健事業の一部に必要な予算(加入者数等で按分)
		③上記②の予算を超えた取組に必要な予算【特別計上予算】※保険料率に影響
保健事業における重点取組	保健事業の重点的取組等に対する予算	

**課題**

- ・【特別計上予算】は、医療費適正化等の保険者機能推進に積極的な支部ほど都道府県単位保険料率が上昇するリスクを伴う
- ・その結果、各種取組に消極的になる
- ・一定の準備金の確保により、活用方法として保険者機能を発揮するため等の予算措置要望が各支部から寄せられた

令和元年度の対応	保険者機能強化予算	【特別計上予算】⇒<支部医療費適正化等予算>に変更	
		全体予算枠	8億円程度(30年度の【特別計上予算】4億円に医療費適正化等を一層推進する観点から+α)
		支部の予算上限	8億円程度について、[定額部分]と[加入者数按分]で設定
		支部取組分野ごとの予算配分	支部上限の範囲内で、原則は支部の裁量で設定が可能
		【保健事業の重点的取組等に対する予算】⇒<支部保健事業予算>に変更	
		全体予算枠	40億円程度(30年度の保健事業関係予算35億円に健診受診率向上等を一層推進する観点から+α)
		支部の予算上限	40億円程度について、[40歳以上の加入者数按分]で設定
		支部取組分野ごとの予算配分	支部上限の範囲内で、原則は支部の裁量で設定が可能

## (2)長野支部保険者機能強化予算

区分		平成31年度予算	要求額	平成30年度予算	
A.支部保健事業予算	(Ⅰ)その他の保健事業	40歳超加入者1人当たり 200円相当(340,772人) 68,397千円	58,411千円	加入者1人当たり7円相当 4,227千円	
	(Ⅱ)受診勧奨、データヘルス			40歳超加入者1人当たり40円相当 12,088千円	
B.支部医療費適正化等予算	(Ⅳ)医療費適正化対策	—	10,283千円	【特別計上】 1,715千円	
	(Ⅴ)支部独自のサービス向上のための取組	広報・意見発信		定額部分(600万円)+按分加算 14,699千円	定額部分(300万円)+按分加算 4,266千円
		その他			—
		83,096千円	68,694千円	51,308千円	

### 令和2年度予算

現時点では、令和元年度の執行実績の整理ができないこと等から、令和元年度予算と同額

予算区分	令和2年度の支部別予算枠の算出基準	長野支部予算枠
支部医療費適正化等予算	全体予算8億円を、全支部一律に定額部分600万円を設定した上で、残りを加入者数で按分し加算	14,699千円
支部保健事業予算	全体予算40億円を40歳以上の加入者数で按分	68,397千円
合 計		83,096千円

### (3) 令和元年上期保険者機能強化事業

区分		事業内容	予算(千円)	新規事業	
医療費適正化等	医療費適正化対策	子どもを通じた子育て世代への適正受診啓発	啓発チラシの作成、自治体を通じた配布、啓発セミナーの開催	1,922	○
		学生向け適正受診啓発	県内大学での啓発セミナーの開催	357	○
		資格喪失後受診者への返納金納付督促	休日・夜間を中心とした納付督促架電業務の外部委託	1,635	
	広報・意見発信	新生児の親への広報	医療費適正化、健康リテラシー向上を目的に新生児の親に育児情報誌を贈呈	3,401	
		新聞ほかメディアによる広報	メディアを活用した幅広い層への広報	1,461	
保健事業	保健指導委託	保健指導委託	保健師配置事業所への特保委託	864	
		中間評価時の血液検査	特保中間評価時点での改善効果検証	1,800	
	健診・保健指導	支部独自集団健診	協会けんぽ単独で設営する集団健診の実施	10,417	
		事業者健診データ取得	健診機関でのデータ作成料	18,926	
		事業者健診データ取得対策	データ取得件数増強のための健診機関向け督促費用	5,691	
		特定健診未受診者対策	被扶養者健診受診者数増強のための健診機関向け督促費用	1,407	
		広報	健診受診率、特定保健指導実施率向上のための広報活動	3,175	
	コラボヘルス	健康経営セミナー開催	事業所事業主・健康管理担当者向けセミナー	954	
		事業所単位の講習会開催	食生活、運動、乳がんなど5つのメニューの講習会を提供	1,905	
		ウォーキングラリー参加	県、経済団体、県内保険者共催により、支部で開発したスマホアプリを全参加者に提供(アプリ改修費用)	2,023	
	重症化予防対策	薬剤師による糖尿病性腎症の重症化予防指導	松本市薬剤師会に委託しプログラム参加者の生活習慣改善指導を実施(松本市国保と連携)	2,005	
	その他	喫煙対策	健診機関または協会保健師による禁煙支援 事業所単位の禁煙教室実施	3,650	
		ごはんチェック	特定保健指導において管理栄養士が実際の食事の画像に基づき指導する	346	○
健康レシピ作成		過去HP等に掲載した健康食レシピを冊子にまとめ配布	1,620	○	

## (4) 令和元年上期KPIと事業課題

保険者機能強化予算関連【KPI】		目標値		上期進捗状況	達成状況
		年間	上期		
1	受診後3か月以内に医療機関を受診した者の割合	12.0%	12.0%	13.0%(7月末)	達成中
2	健康保険委員カバー率	52.0%	51.7%	52.4%(8月末推計)	年間目標達成済
3	ジェネリック医薬品使用割合	80.1%	78.0%	78.1%(4月診療分)	達成中
4	被用者保険での地域医療構想調整会議参加率	100%	100%	100%	達成中
5	生活習慣病予防健診受診率	54.0%	29.9%	31.2%	未達(前年大幅伸長)
6	事業者健診データ取得	14.0%	5.2%	2.6%	未達(前年大幅伸長)
7	特定健診受診率	33.1%	12.6%	10.6%	未達(前年大幅伸長)
8	特定保健指導実施率(被保険者)	27.0%	14.4%	10.7%	未達(前年大幅伸長)
9	特定保健指導実施率(被扶養者)	10.9%	5.7%	6.3%	達成中(前年未達)
10	柔道整復療養費申請に占める、3部位以上かつ15日以上 の施術申請の割合	0.83%以下	0.83%以下	0.74%(7月末)	達成中
11	医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合	0.047%以下	0.047%以下	0.043%(7月末)	達成中
12	返納金債権(資格喪失後受診に係るもの)の回収率	55.4%以上	55.4%以上	24.38%(8月末)	未達
13	年金機構回収分を含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率	95%以上	95%以上	94.2%(8月末)	未達

### 【課題】

1	協会事業に関する加入者理解度が低い	47支部中45位(昨年度調査結果)
2	健診受診率の伸び悩み	生活習慣病予防健診の受診率が低位で、事業者健診データ取得に注力せざるを得ないが、労力負担大(手間ひまがかかる)
3	特定保健指導において外部委託伸び悩み	協会保健師への依存度が高く、外部委託による実施率は低い
4	ジェネリック医薬品使用率の伸長鈍化、地域差	地域差は過去から継続して認識している課題だが、顕著な変化が見られないもの
5	遡及喪失者及び保険証未返納者への早期対応	連絡先不明や平日・昼間での連絡不通が散見

## (5) 評議員の皆さまからのご意見

### 【令和元年度事業に対するご意見】

事業名	ご意見
<b>ウォーキングラリー</b>	社内コミュニケーションを図るうえでも楽しい企画であり、事業主への理解が増えれば、更に参加事業所も増えると思います。
[方向性]	関係先にもご協力を頂き、事業主の皆さまのご理解を深めていきたいと考えています。
<b>ウォーキングラリー</b>	学生、高齢者も参加できる企画を検討。
[方向性]	長野県の課題である「働く世代の健康づくり」の一環として実施しているため、被保険者を通じた参画をお願いしたいと考えています。
<b>健康レシピ集</b>	健康レシピ集を作成したのなら、活用できるようホームページ等を通じて広報して欲しい。
[方向性]	ホームページへの掲載を行い、ホームページやメールマガジンで広報をしていきたいと考えています。
<b>新聞等媒体を活用した広報</b>	新聞、地方広報誌を活用した広報は有効だが、新聞離れ世代には別の手段が必要と思う。
<b>新たな広報ツールの開拓</b>	公共交通機関の広告、ドラッグストアでの広告等。
[方向性]	本部や他支部では「インターネット」(YouTube等)や「交通広告」の活用も行っているため、新たな広報手段として検討していきたいと考えています。

### 【令和2年度事業検討に向けたご提案】

少子高齢化が進むにつれ、若い世代の医療保険制度の理解が重要になってくると思います。中学生や高校生等に対して、医療保険制度を理解させる施策も重要になってくるのではないのでしょうか？

[方向性] 学習指導要領等も問題から新たな課題への授業時間を割くことに対する難易度は高いため、大学生向け講座を進めています。

被扶養者の健診案内をA3等の大きさに印刷して事業所の掲示板に掲示してもらおう。

[方向性] 健診案内だけでなく事業所掲示用広報物は検討したいと思いますが、36,000事業所への対応は難易度が高いと思われるので、優先順位として健康保険委員委嘱事業所等への配布が可能な広報物を検討したいと考えています。

## (6) 令和2年度の方向性

### 【方向性】

幅広い層に届く広報

関係先との連携

外部委託

単位:千円

予算枠	区分	事業名称	事業名称	概要	計画額	
14,699	医療費適正化	継続	新生児の親への制度啓発	出産された加入者に育児雑誌を送付	3,806	
		継続	大学生に向けた適性受診の啓発	社会保障の支え手に対する制度啓発	130	
		継続	子供を通じた子育て世代への適性受診の啓発	自治体と連携したチラシ配布	626	
		継続	債権電話督促	委託業者による夜間・休日を含む電話督促	1,650	
		再実施	お薬手帳カバー作成	在庫切れに伴い、30,000部作成	2,129	
						8,341
	広報・意見発信	継続	紙媒体による広報	納入告知書等定期発行広報	1,643	
		強化	メディアを活用した広報	一般広報(1,700)に加えて、企画競争(3,000)	4,715	
						6,358
						14,699
68,397	その他保健事業	継続	健康経営セミナー	健康経営セミナー1会場	900	
		継続	事業所単位の講習会	外部委託講習会費用等	2,585	
		継続	ウォーキングラリー	ウォーキングアプリ改修	2,052	
		継続	重症化予防	松本市連携の薬剤師による指導委託費	1,924	
		新規	健康宣言事業所への情報提供	600社の宣言事業所への情報誌送付	462	
		新規	未治療者への受診勧奨	受診勧奨対象者への啓発物送付	160	
						8,083
	健診、保健指導	継続	健診、保健指導の広報	健診等リーフレット作成	2,396	
		強化	保健事業委託(健診、事業者健診データ化他)	データ取得勧奨及び特保専門業者への委託拡大	51,461	
		強化	被保険者向け健診地域対策	健診機関が少ない地域への健診推進経費を投入	3,546	
					57,403	
保健指導委託	継続	中間評価時の血液検査	特保効果測定のための血液検査	2,909		
					2,909	
					68,395	
83,096					83,094	

前年から14,354千円を上回る予算要求により、「広報」「委託」に使用していく